

日本仏教を変えた親鸞の独自性

『教行信証』と『選択集』の比較から見えてきた、念仏の真価

ねづ しげる
根津 茂著
▼A5判・並製カバー！434頁 定価 一、九八〇円



「ただ念仏」の教えがいかに画期的であり、どこまでが法然の思想でどこからが親鸞独自の展開なのか、その真相に迫る！

【目次】

はじめに―『教行信証』を読むにあたって―

第一章 法然の名著『選択集』と弾圧から見る『教行信証』

一、「後序」から見える『教行信証』著述の由来／二、万人平等の仏道を明らかにしたよき師・法然の教え／三、専修念仏に対する弾圧と明恵による批判

第二章 釈尊が最も説きだかつた教えはどの経典か―「教巻」―

一、法然の「選択本願」と親鸞の「本願力回向」／二、出世本懐経たる『大無量寿経』／三、釈尊と阿難、法然と親鸞、阿難と親鸞／四、『教行信証』の構造

第三章 念仏こそが真実の行―「行巻」―

一、なぜ「南無阿弥陀仏」と称えるのか／二、七高僧とは／三、インド仏教の中での念仏／四、中国仏教から見える称名念仏／五、東アジアの諸師による解釈／六、七祖の伝統と日本仏教の視点で見える専修念仏／七、海のような本願こそが大乗仏教の精華たる一乗／八、正信偈讃歌

第四章 如来よりたまわりたる信心と菩提心―「信巻」―

一、念仏为本と信心为本／二、『観経』の三心と二河白道の譬え／三、『大経』に基づく真信心(三心一心問答)／四、親鸞にとつての菩提心／五、真の仏弟子と愛欲に沈む親鸞／六、親殺しなど五逆と正しき教えを誹謗する者は救われるのか

第五章 浄土門におけるさとりととは―「証巻」―

一、往相回向による証果／二、この世に還つて衆生済度(還相回向)

第六章 真の浄土とは―「真仏土巻」―

一、経典から見る仏土と涅槃／二、真仏土を祖師の言葉で確かめる

第七章 浄土教の方便―「化身土巻」(前)―

一、化身土とは／二、経典の隠顕／三、果遂の誓いと三願転入

第八章 時代認識と神祇について―「化身土巻」(後)―

一、親鸞の時代認識と末法の比丘／二、神祇や靈魂に対する信仰批判／三、再び「後序」を読む

参考文献

あとがき

◆著者略歴

根津 茂(ねづ しげる)

一九五九年、神戸市に生まれる。一九八二年、甲南大学法学部卒業。以後二二年間にわたつて企業に勤務。主として、総務、人事、経理を担当する。この時期、『歎異抄』を通して親鸞の教えにふれ、浄土真宗の教えを学び始める。一九九四年、東本願寺にて得度。真宗大谷派僧侶(大阪教区南浜寺所屬)として現在に至る。一九九六年より二三年間甲南高等学校、中学校非常勤講師を兼ねた。
著書は、『日本仏教を変えた 法然の先鋭性―親鸞にとつての「真宗」―』(法藏館)、『二〇世紀世界の「負の遺産」を旅して―戦争の惨禍から見えてきたもの―』(明石書店)、『三悪趣からの解放―憲法九条・二十条の持つ意味―』(共著・念仏者九条の会編 自照社出版)。

注文書	様冊
(書店印)	ご担当
根津 茂著	法藏館 定価 一、九八〇円
日本仏教を変えた親鸞の独自性	住所
―『教行信証』と『選択集』の比較から見えてきた、念仏の真価―	お電話
ISBN:978-4-8318-8801-3 C3015	お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

真宗・浄土宗